



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

News Release

令和元年6月7日

第20回物流環境大賞の受賞者を決定

-大賞は山九株式会社応募案件（4社連名）に決定-

一般社団法人日本物流団体連合会（田村修二会長）は、5月24日（金）に開催された選考委員会（委員長：日本物流団体連合会 田村修二会長）において、第20回物流環境大賞の受賞者を決定した。

「物流環境大賞」は、山九株式会社、三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社、日本ニュートリション株式会社、株式会社サンキュウ・トランスポート・東日本の4社連名案件である『路線便輸送から複数品目の共同輸送及び鉄道を利用したモーダルシフトの実施』が受賞した。

また、部門賞では物流環境保全活動賞（4件）、物流環境啓蒙賞（1件）、物流環境負荷軽減技術開発賞（1件）、物流環境特別賞（3件）、日本物流記者会賞（1件）を選定した。

各受賞者の概要は別紙の通りである。

なお、表彰式は6月25日（火）15時30分より、第一ホテル東京にて開催される令和元年度定時総会の席上において実施する。

【添付資料】

別紙1：第20回表彰受賞者の概要

別紙2：物流環境大賞について

別紙3：第20回物流環境大賞選考委員会委員名簿

以上
事務局：原田

第20回表彰受賞者の概要

物流環境大賞

被表彰者：山九株式会社

三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社

日本ニュートリション株式会社

株式会社サンキュウ・トランスポート・東日本

功績事項：路線便輸送から複数品目の共同輸送及び鉄道を利用した
モーダルシフトの実施

山九（株）、三菱エンジニアリングプラスチックス（株）、日本ニュートリション（株）、（株）サンキュウ・トランスポート・東日本は、茨城県から東北各県への合成樹脂および飼料添加物の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを行った。

モーダルシフトの実施にあたっては、茨城県神栖市の工場から出る 2 社の貨物を別々に路線便で小口輸送していたものを、盛岡貨物ターミナル駅に拠点を設け、鹿島臨海鉄道神栖駅と盛岡貨物ターミナル駅間で鉄道コンテナ輸送による共同輸送を行い、同駅からトラックで配送する輸送形態へと転換した。

本件は、大幅な CO2 排出量の削減を実現しているほか、性状の異なる複数品目の共同輸送とモーダルシフトを同時に実現しており、環境負荷低減と物流効率化の範となる取組みを行っている。

物流環境保全活動賞（4件）

被表彰者：日本通運株式会社

パナソニック株式会社 アプライアンス社

日通・パナソニック ロジスティクス株式会社

功績事項：RORO 船を活用した静岡～佐賀間のモーダルシフト

日本通運（株）、パナソニック（株） アプライアンス社・ランドリー・クリーナー事業部、日通・パナソニック ロジスティクス（株）は、静岡県から佐賀県への洗濯機の輸送について、従来のトラック輸送から RORO 船による海上輸送へのモーダルシフトを行った。

輸送に関しては、曜日間のオーダーの波動の大きさが安定的な輸送の障壁になっていた為、モーダルシフトを行うにあたり、定期的な運行になるよう集荷を毎週火曜日、配達を同週木曜日と固定化する工夫を施し、静岡県袋井市の工場～清水港及び大分港～佐賀県鳥栖市の物流センター間でのトラック輸送の波動を抑制した。（2019年5月16日集荷分から毎週木曜日、配達を同週土曜日へと変更）

これらの取り組みにより、CO2 排出量の削減および輸送効率化を実現している。

被表彰者：日本通運株式会社
横浜ゴム株式会社
浜ゴム物流株式会社

功績事項：鉄道コンテナ輸送を活用した三重～広島間のモーダルシフト

日本通運（株）、横浜ゴム（株）、浜ゴム物流（株）は、三重県から広島県へのタイヤの輸送について、従来のトラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを行った。

輸送に関しては、三重県松阪市の集荷先から三重県四日市市の貨物駅まで約50kmの距離があるため、集荷日を調整しコンテナ2個単位のオーダーとしたほか、コンテナ2個積み車両の前方コンテナにも積載ができるよう、専用のステージを設置してコンテナ側面からの荷卸を可能とする工夫を施した。

これらの取り組みにより、CO2 排出量の削減および輸送効率化を実現している。

被表彰者：飛騨産業株式会社
濃飛倉庫運輸株式会社

功績事項：北海道から岐阜県までの幹線輸送に鉄道コンテナ輸送を活用

飛騨産業（株）と濃飛倉庫運輸（株）は、北海道工場から全国各県への家具製品の輸送について、北海道から岐阜県の区間で発生する幹線輸送に鉄道コンテナ輸送を活用した。

北海道工場から濃飛倉庫運輸（株）岐阜輸送センターまでの 1 次輸送には鉄道コンテナ輸送を活用し、その後、同センターから着荷主まではトラックによる 2 次輸送を行う事で CO2 排出量の抑制を実現した。

被表彰者：株式会社ロジスティクス・ネットワーク

功績事項：継続的なモーダルシフトの取り組みについて

（株）ロジスティクス・ネットワークは、北海道から神奈川県および千葉県から広島県への冷凍食品の輸送について、従来のトラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを行い、CO2 排出量の削減およびドライバーの省力化を実現した。

北海道から神奈川県への輸送については、復路の輸送を温度帯の異なる他社の貨物輸送と組み合わせることで、同一コンテナの往復利用を実現している。

物流環境啓蒙賞（1 件）

被表彰者：日本自動車ターミナル株式会社

功績事項：トラックターミナルにおける「環境負荷の低減」と「環境意識の向上」

日本自動車ターミナル（株）は、各トラックターミナルにおいて、太陽光エネルギーの活用や高効率機器の積極的な導入により、建築物総合性能評価システム（CASBEE）や DBJ Green Building 認証等を取得している。ガソリンスタンドでは、CNG・LNG スタンドも導入し環境負荷低減に貢献している。

また、ペットボトルキャップ回収、植樹や節電イベントの開催を通じ、構内にて働く人への環境意識向上に関わる取り組みや、社員への eco 検定の受験推奨など、環境配慮の重要性を関係者に奮起し、環境対策に貢献している。

物流環境負荷軽減技術開発賞（1件）

被表彰者：山九株式会社
三井化学株式会社

功績事項：500kg フレコン（合成樹脂）の内航船へのモーダルシフト及び積載効率向上による環境対策

山九（株）と三井化学（株）は、千葉県から広島県への500kgフレコン（合成樹脂）の輸送について、従来のトラック輸送から内航船による海上輸送へのモーダルシフトを行った。

モーダルシフトの実施にあたっては、特殊20Fハイキューブコンテナ（実用新案取得）および専用ラック（意匠取得）を製作し、従来段積みができなかったフレコンについて、二段積みを可能とすることにより、積載効率を向上させ、より一層のCO₂排出量の削減およびドライバーの省力化を実現した。

物流環境特別賞（3件）

被表彰者：センコー株式会社
旭化成ホームズ株式会社

功績事項：住宅部材の輸送車両大型化による輸送効率化の取り組み

センコー（株）と旭化成ホームズ（株）は、兵庫県と愛知県間における内装材の輸送について、輸送車両を大型トラックからトレーラーへ転換し、トラック台数を削減することで、ドライバーの省人化およびCO₂排出量の削減を実現した。

転換前は2台の10tトラックが兵庫県と愛知県を往復して輸送していたが、トレーラーを用いた輸送に転換することで10tトラック2台分の貨物をトレーラー1台に集約して輸送することが可能となり、輸送効率を向上させることに成功した。

被表彰者：日本パレットレンタル株式会社
キューピー株式会社
ライオン株式会社
関光汽船株式会社

功績事項：異業種3社による往復幹線輸送の実現～内航フェリーによる
海上モーダルシフト～

日本パレットレンタル(株)、キューピー(株)、ライオン(株)、関光汽船(株)は、茨城県から佐賀県への調味料・加工食品の輸送、佐賀県から香川県へのレンタルパレットの輸送、香川県から埼玉県へのトイレタリー用品の輸送について、トラック輸送から内航フェリーによるモーダルシフトを組み込んだ異業種3社による往復幹線輸送を実施し、CO2排出量の削減および輸送効率化を実現した。

加工食品輸送の際の香りの課題については、13mトレーラーコンテナを専属・固定使用することで輸送品目を限定させる等の工夫を施した。

なお、現状輸送を行っていた各社のルートを組み合わせている為、輸送の転換時に追加で発生するコストはゼロに抑えられている。

被表彰者：株式会社ランテック

功績事項：冷蔵・冷凍食品の小口混載便の車両大型化によるドライバー不足
と環境負荷低減への対応

(株)ランテックは、神奈川県・愛知県・大阪府・福岡県間の冷蔵・冷凍食品輸送について、輸送車両を13.5tトラックからセミトレーラーへ転換することで積載量を向上させてトラック台数を削減し、ドライバーの省人化およびCO2排出量の削減を実現した。

また、従業員が日帰りできるよう、神奈川⇔名古屋間の輸送では静岡県のランテック静岡支店、神奈川⇔大阪間の輸送では愛知県新城IC、名古屋⇔福岡間の輸送では広島県福山ICを中継地とした乗務員交代を行い、働き方改革にも取り組んでいる。

日本物流記者会賞（1件）

被表彰者：株式会社ジェイアール東日本物流

功績事項：JR 東日本グループのインフラ（新幹線）を活用した新たな輸送

（株）ジェイアール東日本物流は、首都圏から福島県内の JR 東日本のグループ会社が運営するコンビニエンスストア（NewDays）へ向け、同社の PB 商品について、トラック輸送から下り新幹線を利用した輸送へ転換した。

また東北・信越各県から首都圏への青果物の輸送について、上り新幹線を利用した輸送をしており、輸送にあたっては、新幹線車両の空きスペースを活用し、賞味期限の短い冷蔵食品や、青果物を輸送品目として扱っている。

JR 東日本の新幹線の強みを活かし、高速輸送による鮮度の高い状態での販売や地域の魅力を発信するための斬新な物流を実現している。

物流環境大賞について

物流環境大賞は、一般社団法人日本物流団体連合会
が平成12年度に制定致したものであります。

その趣旨は、近年、物流分野においても環境問題への
対応が益々重要となっている現状に鑑みまして、物流
部門において環境保全活動や環境啓蒙活動等の面で
優れた功績を残された団体、企業又は個人を表彰する
制度を設け、もって環境施策の一層の推進を図ること
と致したいというものであります。

毎年、物流環境大賞選考委員会（委員長 田村修二
（一社）日本物流団体連合会会長）で、被表彰者を選考
の上、通常総会において表彰することと致しておりま
す。

第 20 回物流環境大賞選考委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

(選考委員会)

委員長	田村 修二	(一社)日本物流団体連合会会長
副委員長	野尻 俊明	流通経済大学学長
委員	山田 輝希	国土交通省総合政策局物流政策課長
	上田 実	(株)日通総合研究所 リサーチ&コンサルティングユニット3 アカウントオフィサー
	大山 高明	日本物流記者会 会長
	玉木 良知	(一社)日本物流団体連合会 物流環境対策委員会委員長
	竹津 久雄	(一社)日本物流団体連合会 人材育成・広報委員会委員長
	与田 俊和	(一社)日本物流団体連合会理事長

(予備選考委員会)

委員長	野尻 俊明	流通経済大学学長
委員	上田 実	(株)日通総合研究所 リサーチ&コンサルティングユニット3 アカウントオフィサー
	大山 高明	日本物流記者会 会長
	与田 俊和	(一社)日本物流団体連合会理事長